

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0【概要版】

趣旨・位置づけ

「とよなかデジタル・ガバメント戦略」（令和2年9月策定）の後継戦略として位置づけ、これまで市が推進してきた様々な取組みをベースに、市のデジタル・ガバメントの取組みを加速・バージョンアップさせていくため、また、基本政策や経営戦略方針などを着実に実行するための戦略として、『とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0』を策定します。

戦略期間

令和5年度(2023年度)から令和7年度(2025年度)

進行管理

市民ニーズや国の施策などの社会動向、デジタル技術の進展などに柔軟に対応できるよう、戦略期間中に必要に応じて取組みの追加や見直し、重点化を行います。

推進ビジョン

「デジタル・ガバメント2.0」においては、市民の実感・共感を得られるよう、「3つの取組みの柱」「3つの視点」で推進

市民の実感・共感を伴うデジタル・ガバメント2.0の推進

誰もがデジタルの恩恵を享受し、暮らしやすさを実感・共感できる取組みを進めます。

3つの
取組みの柱

まちのデジタル活用

サービスのデジタル活用

行政のデジタル活用

3つの視点

利用者起点

誰にとっても使いやすい
サービスの展開

スピード感

ニーズに沿った柔軟・
スピーディな取組み

共創

多様な主体との
連携・協働

これまでの取組みの課題

○市民の実感・共感 ○デジタルへの期待・ニーズ

デジタル・ガバメント2.0へ

新たな価値を創造する「デジタル・ガバメント」の取組みからあらゆる場面でのデジタル実装を進め、生活の質のさらなる向上に取組む『デジタル・ガバメント2.0』にバージョンアップし、豊中らしいスマートシティをめざします。

デジタル・ガバメント2.0を通じて、めざすスマートシティの姿
多様な主体との連携のもと、まちづくりや暮らしのあらゆる場面にデジタルを実装し、浸透させることにより、地域課題を解決しつつ、まちの機能・魅力の向上を図り、豊かな市民生活・地域社会が形成されているまち

取組み全体像

多様な主体との連携を推進基盤として、テーマごとに取組みを推進

まちのデジタル活用

教育・子育て

健康・医療

防災・防犯

交通

多様性

まちの魅力

サービスのデジタル活用

最適化

パーソナライズ

行政のデジタル活用

データ活用

業務改革

推進基盤（豊中市公民学連携PF・大阪府ORDENなど多様な主体と連携）

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0【概要版】

取組み内容

実感・共感を伴うデジタル・ガバメント2.0の推進
KGI：デジタルサービスに対する満足度向上

まちのデジタル活用

- 学習環境の充実
教育・子育て
- 子育て環境の充実
教育・子育て
- 地域包括ケアへのデジタル活用
教育・子育て 健康・医療
- 介護・健康分野へのデジタル活用
健康・医療
- 防災分野へのデジタル活用
防災・防犯
- 先進技術等の活用
防災・防犯 交通 まちの魅力
- デジタル・デバйд対策
多様性

サービスのデジタル活用

- マイポータルサイト構築（プッシュ型）
最適化 パーソナライズ
- 窓口・オンライン手続きの質向上
最適化 パーソナライズ
- サービス周知・広報・連携
最適化

行政のデジタル活用

- データ利活用環境の構築
データ利活用
- デジタル推進基盤の構築
業務改革

とよなかデジタル・ガバメント戦略2.0【概要版】

将来像（めざすスマートシティの姿）

Before

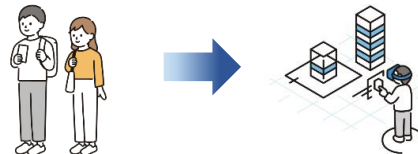
After

まちのデジタル活用

➤ オンラインで本を借りたり、診察を受けられる



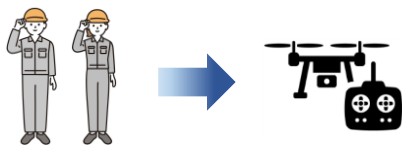
➤ VR技術などでまちの魅力を体験できる



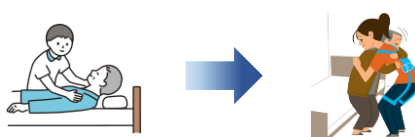
➤ 次世代モビリティで快適な移動を体感



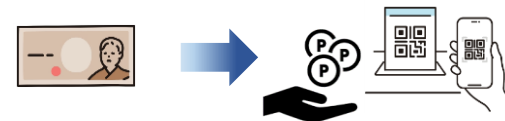
➤ ドローンで迅速な災害対応ができる



➤ ロボットによる労働負担軽減



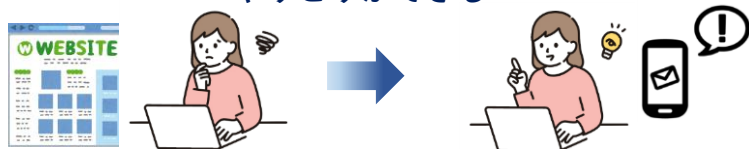
➤ 買い物やイベントなどで、地域通貨・ポイントが使える、もらえる



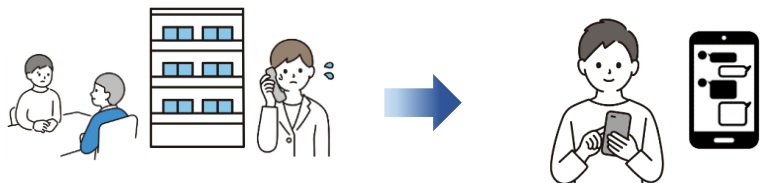
ロボット介護機器開発・導入促進事業（開発補助事業）研究基本計画<抜粋>

サービスのデジタル活用

➤ 「一人ひとりの専用サイト」で自分にとって必要なやりとりができる



➤ 来庁しなくてもいつでもどこでも手続きや問合せができる



行政のデジタル活用

➤ データを利活用して、効果的なサービスにつなげる



➤ 端末統合や仮想環境・クラウド利用で、生産性の向上

